さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

クレカ不正対策強化

本人認証や利用時通知

経済産業省はクレジットカードの不正利用対策を強化する。インターネット通販の普及で2021年のカード番号の盗用被害額は過去最高となっており、国際的な本人認証システムの導入義務化や、リアルタイムの利用通知の普及を図る。22年度末に改定する「セキュリティガイドライン」に盛り込み、25年4月ごろの義務化を目指す。

クレジットカードの不正利用は以前は偽造カードによるものが大半だったが、ICチップの搭載で徐々に減少。近年は通販サイトへの不正アクセスや、偽サイトに個人情報を入力させる「フィッシング」などで流出したカード情報が不正利用される事例が増えている。

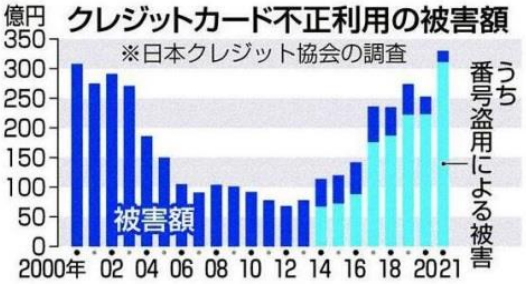
日本クレジット協会によると、21年の不正利用被害は330億円と過去最高だった。このうち9割がカード番号の流出による被害だった。

現在、通販サイトの本人認証はカードに記載されているセキュリティーコードや、事前に設定したパスワードが主流となっている。しかし毎回そうした認証を要求しないサイトも多く、さらにコードやパスワードの流出もあり不正利用の拡大につながっている。

経産省は不正利用対策として、国際ブランドが推奨する最新規格の本人認証サービスの導入を加盟店に義務付ける方針。

ネット上の住所に当たるIPアドレスなどから不正利用の可能性があると判断した場合、一定時間しか使えない「ワンタイムパスワード」や指紋などによる本人認証を求める。

このほか通販サイトのセキュリティー対策強化や、利用時にリアルタイムでカード所有者に通知する機能の導入も事業者に促す。



（2023年1月8日付 山梨日日新聞5面）

問1
近年増えている、クレジットカードの不正利用には、どのような事例がありますか。

問2 経済産業省は、不正利用対策として、何をする方針ですか。

問3 不正利用されないために、あなたは、どのような注意が必要だと思いますか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.